

学校教育目標 新しい知を拓き、ともに生きる豊かな社会を創るため、主体的に学ぶ、人間性豊かな「南古谷っ子」を育成する
目指す学校像 みんなが みんなを 大切にする学校
南古谷小学校5つのじまん あいさつ ことば なかよし 読書 歌声

川越市立南古谷小学校



学校だより

なのはな

かしこく ゆたかに たくましく

令和6年11月29日発行

多面的にアプローチする

校長 馬場 雅史

「校長先生、富士山がとてもきれいに見えます。」と、最近、5年生の子供たちが3階の教室から大きな声を掛けてくれました。身も縮むような冬の朝が多くなってまいりました。それに応じるかのように早朝の空気は凜と澄み、遠くの富士山がくっきりと浮かび立って見えます。遠くに見える富士山を見て、「きれいだ」と感じる子供たちの感性を嬉しいと感じつつ、大事に育てたいと思いました。因みに、私のベストスポットは、本校西校舎4階廊下最西端の窓前です。この季節は朝一番に足を運び、あれこれと拝んでいます。

先日来、校内音楽会（11月1日）、授業公開（11月20日～22日）に当たり、ご多用の中、保護者の皆様には頻繁にご足労いただき感謝いたします。保護者の皆様に参観していただく度に、子供たちの集中力の高まりを感じます。オンとオフではありませんが、力の入れ所を意識して、自分の力をコントロールしていくことのできる子供たちであって欲しいと思っています。2学期は、運動会や音楽会、校外学習など、教室を離れての大きな行事がたくさんある一方で、教室での学習も深化・充実してくる時期と捉えています。内も外も無く、体験を体験のままで終わらせたくありません。できるだけ、経験（値）にまで昇華させて、知識・技能として、そして感性の部分でも使えるモノを増やしていけることが大切であると考えています。そのような中で、保護者の皆様には、子供たちへのお声かけや体調管理を常日頃から温かく行っていていただいております。また、ミシンボランティアや書き初め支援ボランティア、朝の登校指導、PTA活動、放課後子ども教室など、目に見える形で、保護者の皆様や地域の皆様に本校の教育活動を支えていただいております。本当に、改めて御礼申し上げます。

ところで、米大リーグ・ドジャースの大谷翔平選手が2年連続3度目となるリーグ最優秀選手（MVP）に選出されました。その成績は、本塁打王と打点王の2冠を獲得し、打率も最後まで争って三冠王にまで迫りました。また、前人未踏の「50本塁打、50盗塁」も達成し、自身初となるワールドシリーズ制覇も成し遂げました。投手としては登板しませんでしたでしたが、打者として素晴らしい結果を残しました。驚異的な成績にばかり目が向きますが、大谷選手のプレーを支えているのは、継続的な努力と研究、徹底した体調管理、そしてチームの勝利のために献身的に取り組む姿勢にあると考えられます。このような大谷選手の活躍を教材として、例えば道徳などで授業を展開していくのも面白いでしょう。校長という立場柄、教育的な視点で大谷選手の活躍を捉える見方・考え方をしますが、先日、認知神経科学の立場から大谷選手の活躍を分析している新聞記事を拝見しました。概観すると、大谷選手は身体能力だけではなく、脳がすごい処理をしてあのパフォーマンスを引き出していると捉えられるのではないかと、そして、その脳の働きの解明が人としてのウェルビーイングに還元できるのではないかとという記事でした。大谷選手の動作やメンタルに、当人が無自覚的な脳機能の領域から視点を当ててみるという研究は、大変興味を引かれました。教育ではない立場で事象を捉えることは、常に意識していきたいところです。

現行の学習指導要領では、各教科等で、その特質に応じた見方・考え方を踏まえて学習活動を展開していくこととなっております。これは、自然科学や社会科学、人文学といった複数の学問分野に高まっていく基礎の部分の部分を磨いていると言えます。そのような基礎の部分を豊かに育みつつ、身の回りの物事を様々な見方・考え方で捉え、問題解決に多面的にアプローチできる子供たちを育てていきたいと思っています。